



子どもたちの性と生

～産婦人科の現場から～

「どこまで教えてほしいの?」「興味本位で性行動をしたら困る…」そんな不安からか、子どもたちに性教育が十分になされていない現状があります。35年に渡り、産婦人科医として「性と生」に向き合ってきた河野美代子さんは、長年の経験から「知れば知るほど慎重になる」と語ります。知識がないために、性被害を受けても誰にも話せず、一人で苦しみ、孤立させられている子も大勢います。

子どもたちに必要なことは、自分のからだを知り、自分を大切にするための適切な情報です。

性暴力被害の現状、デジタル性暴力への対応、子どもを守るためにおとながができることなど、幅広くお話しいただきます。性暴力・性虐待から子どもを守るために私たちにできることは何か、一緒に考えてみませんか。

子どもたちが豊かな人生を送るために 大切な人権と命を守るために

【日時】

2022年**12月18日(日)**

14時～16時

【申込方法】 **申込メ切 12月16日**

申込および参加にはインターネット環境が必要です。
下記のいずれかの方法でお申込みください。

【メール】

oki2022kodomo@gmail.com

1.名前 2.希望講演会名 3.電話番号
4.お住まいの市町村 5.職業(所属)をご記入ください。



【Google フォーム】

QRコードよりお申し込みください→



問合せ先:おきなわCAPセンター(平日:9時～17時)

電話: **070-6591-7159**



講師

この **みよこ**
河野 美代子さん



(産婦人科医、河野産婦人科クリニック理事長、
NPO 法人性暴力被害者サポートひろしま理事)

<略歴>1990年広島市に河野産婦人科クリニック開業。河野セクシャリティー医学研究所所長。ボランティア団体「広島エイズダイアル」代表。NPO 法人性暴力被害者サポートひろしま理事。特別養子縁組あっせん事業者。休診日には、性教育の講演で全国に飛ぶなど、執筆や講演に幅広い活動をしている。日本思春期学会評議員。

<著書>『新版さらば悲しみの性』(集英社1999)『ティーンズボディQ&A』(東山書房1999)『新版SEX&ourBODY』(NHK出版2005)『河野美代子の更年期ダイアリー』(高文研2006)『産婦人科の窓口から』(十月舎2005)『続・いま生きる底力を子どもたちに』(十月舎2008)他多数。